

1 中学校社会科における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) 小中高にかかわる改訂の要点について

- 社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに、

⇒「教科の改訂の要点」：言語活動の充実

持続可能な社会の実現を目指すなど公共的な事柄に主体的に参画する資質や能力の育成を重視する。 ⇒ 社会参画、伝統や文化、宗教に関する学習の充実

(2) 地理的分野

① 防災について

- 東日本大震災を踏まえて、日本の国土像をどのように考えるかという視点を持つ。  
(例：自分たちの身近な地域をどうしていけばよいのだろうか。課題は何だろうか。)
- 防災を取り扱う際は、学校教育全体を見据えて、社会科だけではなく、教科横断的に、各教科の役割を踏まえることに留意する。

・ 小学校第5学年の目標に「自然災害の防止」を付加  
 ・ 高等学校地理Aに中項目「自然環境と防災」を新設  
 ・ 中学校地理的分野では学習指導要領で2か所の記述  
 (2)イ(ア)「…自然災害と防災への努力を取り上げ、…」  
 (2)ウ(ア)「…地域の自然災害に応じた防災対策が大切…」

- 阪神淡路大震災を踏まえたものだが、東日本大震災を経てさらに大きな意味を持つ。被災地・被災者への配慮は忘れてはならない。

② 領土の問題について

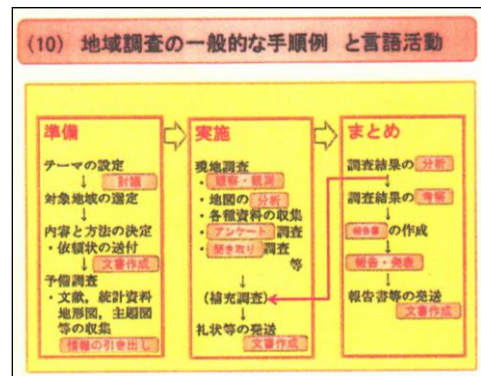
- 正しい国土認識を身に付けることを考えた場合に切り離せない問題。
- 我が国が正当に主張している立場に基づくことが大前提。学校と生徒の実態、発達の段階を踏まえる。

\* 参考資料 パンフレット「竹島問題を理解するための10のポイント」(外務省)

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/takeshima/pdfs/pmp\\_10issues.pdf](http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/takeshima/pdfs/pmp_10issues.pdf)

③ 身近な地域の調査について

- 地域調査は地理的分野の最後となるが、野外調査は別の時期に実施することも考えられる。
- 夏休みや秋休み、遠足等の学校行事と絡めて現地調査を行う工夫も考えられる。



[ 図1 地域調査の一般的な手順例 ]  
 演野清教科調査官配布資料より

(3) 歴史的分野

① 構造化と焦点化について

- 学習内容の精選と焦点化を行い、構造化を図るようにする。
- 学習内容の個別事象は精選し、効率の良い構造化された授業にする。

学習指導要領解説 p.12 に例示されている「歴史的分野の学習内容の構造化図」では、右端の個別事象の部分にあたる。

## 中学校 社会

- ② 問いの構造化について
- ・ 問いの質を踏まえて、活用の仕方  
を考える。

- A ヒトラーの率いた政党を何と言いますか。  
(単語の対応関係の記憶による解答)
- B ヒトラーとはどのような政治を行いましたか。  
(単語またはその集積情報に基づく説明)
- C ヒトラーはなぜドイツ国民から支持されたのでしょうか。  
(因果関係を踏まえて思考・判断や論理を伴う説明)

### (4) 公民的分野

- ① 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎について
- ・ 理解させる上では、具体的・体験的な事例を取り上げて習得させ、大項目(2)以降の学習において活用する。
  - ・ 特別活動での実体験等の具体的なことを想起させながら、学校生活の中の状況を基にして学習することは、思考の流れとしてはスムーズである。
  - ・ 社会問題を取り上げることで理解が深まることもある。学校・地域・生徒の実態に即して授業を展開する。
- ② 問い(疑問)の形でつくられた学習課題について
- ・ 学習指導要領解説の大項目(2)以降の内容の取扱いの後に記載してある1段落目を再確認し、「見直し・振り返り」を踏まえた学習活動を意識して、言語活動を充実させる。
- ③ 社会の変化に対応した学習について
- ・ 社会が変化する中で要請される学習を推進する必要がある。
  - ・ 「法や金融などに関する学習」の充実を図る。租税教育や消費者教育等も。
  - ・ 関係部局・他教科との連携、外部講師の活用、各種教材・ICT機器等の活用、情報収集・情報提供を意識する。

## 2 その他

### (1) 学習評価について

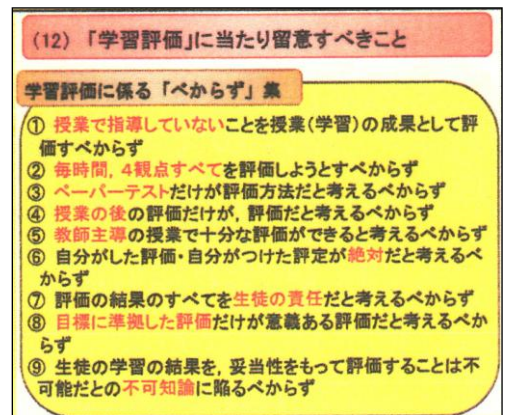
- ・ 授業中、生徒は4観点に係る力を発揮している。
- ・ 授業のねらいを意識して、記録に残す評価項目は  
ポイントを絞る。

### (2) 評価問題について

- ・ 全国の高等学校入学者選抜問題に参考となるもの  
が多いので、研究を進める必要がある。
- ・ 中学校卒業程度認定試験問題や高等学校卒業程度  
認定試験問題等も参考となる。

### (3) 学習指導要領における基礎的・基本的な知識・技能に ついて(中央教育審議会答申より)

- ① 社会の変化や科学技術の進展等に伴い、社会的な自立等の観点から子どもたちに指導することが必要な知識・技能
- ② 確実な習得を図る上で、学校や学年間等であえて反復(スパイラル)することが効果的な知識・技能



[ 図2 学習評価に当たり留意すべきこと ]  
濱野清教科調査官配布資料より

## 3 参考資料等

- ・ 中学校卒業程度認定試験問題 (文科省)  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/sotugyo/1263187.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sotugyo/1263187.htm)
- ・ 高等学校卒業程度認定試験問題 (文科省)  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shiken/kakomon/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/kakomon/index.htm)